

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	青少年指導センターパトロール車借上事業			会計	款	項目	大	小
				01	10	05	10	01
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	生涯学習課			
施策	3-3	次代を担う青少年を育てる地域環境づくり		主管課長	玉田 雅則			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	青少年健全育成における補導活動の効率の推進を図る。
事業内容	青色回転灯を装備した公用車でパトロールを行うことにより、青少年の加害的行為や被害を未然に防ぎ、青少年の健全育成のための環境浄化を推進する。			
事業開始から現在までの状況変化	老朽化した公用車（パトロール車）から新規の借上げ車両に変更したことにより、安全で効率的な市内パトロールを実施している。より一層安全と効率的なパトロールのため、必要な装備の充実に努めている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	補導活動従事者数	1,734	2,590	2,835	人	↑↑↑
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 借上車両により安全で効果的なパトロールができています。 借上期間：5年（平成23年～平成28年5月31日）
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		3,466,980	3,436,180	3,684,180			
事業費(b)(円)		394,380	394,380	394,380			
うち一般財源		394,380	394,380	394,380			
職員給与費(c)(円)		3,072,600	3,041,800	3,289,800			
人役・職員(人)		0.40	0.40	0.40			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)		0.20	0.20	0.20			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	平成23年度から借上げている。	③取組の課題	同乗する青少年補導員の安全確保を図るため、車両の装備により一層の充実が必要である。
②今年度(H27)に実施した取組	冬季における運行の安全確保を図るため、スタッドレスタイヤと、リヤアンダーミラーの購入について予算措置をした。	④今後の改善計画	第一に安全の確保と、迅速で広域性のあるパトロールの必要性があることから、車両の整備の充実と、一層の安全性を重視したパトロールの計画と操業に努める。